2026年11月16日

各　　位

会社名　成　友　興　業　株　式　会　社
代表者名　代表取締役社長　細　沼　順　人
（コード番号9170　名証メイン市場）
問合せ先　取締役常務執行役員
管　理　本　部　長　齊　藤　　衛
（TEL. 03-3538-4111）

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2027年９月期から2029年９月期までの３ヶ年中期経営計画を策定いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

なお、当該資料につきましては、当社コーポレートサイトにも掲載いたしますので、あわせてご覧ください。

記

1. 対象期間
   2027年９月期から2029年９月期までの３ヵ年

2. 添付資料
   中期経営計画

3. 当社コーポレートサイト

   ＵＲＬ　https://seiyukogyo.co.jp/

以上

成友興業グループ

３カ年中期経営計画及び予算
（2027年９月期～2029年９月期）

2026年11月16日

成友興業株式会社

証券コード9170

SEIYUKOGYO

目次

1 今期予算と３年間の利益計画 4

2 環境事業について 7

3 建設事業について 12

4 環境エンジニアリング事業について 20

5 成友セキュリティについて 22

6 株主還元策について 24

1 今期予算と３年間の利益計画 4
2 環境事業について 7
3 建設事業について 12
4 環境エンジニアリング事業について 20
5 成友セキュリティについて 22
6 株主還元策について 24

今期予算と３年間の利益計画について

成友興業グループで早期に売上高２００億円を目指す

□中期経営計画 □今期予算	2026年９月期	中期経営計画 2027年９月期	2028年９月期	2029年９月期
売上高	17,422百万円	19,083百万円	20,973百万円	22,634百万円
営業利益	1,418百万円	1,438百万円	1,768百万円	1,931百万円
経常利益	1,336百万円	1,344百万円	1,673百万円	1,836百万円
当期利益	758百万円	787百万円	934百万円	1,026百万円

事業別の売上・売上総利益計画について

単位：百万円	26/9期（第52期）実績	27/9期（第53期）計画	増減率	28/9期（第54期）計画	増減率	29/9期（第55期）計画	増減率
環境事業	9,046	9,675	+7.0%	10,130	+4.7%	10,460	+3.3%
建設事業	6,923	8,606	+24.3%	9,450	+9.8%	10,500	+11.1%
環境エンジニアリング事業	1,187	900	▲24.2%	1,500	+66.7%	1,850	+23.3%
その他事業	422	453	+7.3%	473	+4.4%	503	+6.3%
調整額	▲157	▲551	-	▲580	-	▲679	-
売上高合計	**17,422**	**19,083**	**+9.5%**	**20,973**	**+9.9%**	**22,634**	**+7.9%**
環境事業	2,056	2,078	+1.1%	2,357	+13.4%	2,472	+4.9%
建設事業	923	1,148	+24.4%	1,184	+3.1%	1,275	+7.7%
環境エンジニアリング事業	93	70	▲24.7%	105	+50.0%	130	+23.8%
その他事業	108	116	+7.4%	114	▲1.7%	121	+6.1%
売上総利益合計	**3,235**	**3,409**	**+5.4%**	**3,821**	**+12.1%**	**4,017**	**+5.1%**

1 今期予算と３年間の利益計画 4
2 環境事業について 7
3 建設事業について 12
4 環境エンジニアリング事業について 20
5 成友セキュリティについて 22
6 株主還元策について 24

環境事業　今後３年間の中期経営計画について

- **成友興業**：二次処理費並びに原材料費等の高騰に鑑みて、原価低減を図り、価格競争力を相対的に上げる。
- **成友エコプラスワン**：大手ゼネコンの受注強化による売上の増加、設備投資による受入量の拡大および二次処理費の圧縮を図る。
- **成友マテリアルワン**：収集運搬機能を強化し、収集運搬台数の増加により受入量・搬出量の拡大および外注費の低減を図る。

□中期経営計画 □今期予算　単位：百万円		2026年９月期	2027年９月期	2028年９月期	2029年9月期
成友興業 環境事業	売上	7,053	7,550	7,950	8,250
	売上総利益	1,352	1,380	1,600	1,680
成友エコプラスワン㈱	売上	1,404	1,425	1,460	1,460
	経常利益	214	160	189	204
成友マテリアルワン㈱ ※７月決算	売上	636	700	720	750
	経常利益	176	210	220	230

環境事業

原価低減の継続的な削減と青梅事業所の本格稼働を軸に軌道に乗せる

□中期経営計画
□今期予算　　単位：百万円

		2026年９月期	2027年９月期	2028年９月期	2029年９月期
成友興業 環境事業	売上	7,053	7,550	7,950	8,250
	売上総利益	1,352	1,380	1,600	1,680

製造原価低減

城南島

① 1トン当たり製造原価の削減　　2%低減　→　毎年度2%低減を継続　→　6％低減

② 二次処理費の削減　　利用計画量 2.3万トン　→　再資源化製品（浄化済土壌・砂）供給量拡大　→　利用計画量 3倍に

売上高増加（受入数量の増加）

青梅

③ 年間埋立計画量の拡大　　計画量 5.6万トン　→　年間埋立計画量を5.6万トンから2029年9月期に17万トンへ拡大　→　計画量 3倍に

あきる野

④ 営業エリアの拡大に伴うがれき類の受入量増　　受入量 20.3万トン　→　受入量を25%増加　→　受入量 25.5万トン

29年9月期で受入量25万トンを達成させる

成友エコプラスワン

積替保管施設・精選機の導入により、原価低減を図る

□中期経営計画 □今期予算　単位：百万円	2026年９月期	2027年９月期	2028年９月期	2029年９月期
売上高	1,404	1,425	1,460	1,460
経常利益	214	160	189	204

年間のれん償却額	44,528千円

売上高増加

①1㎥当たりの処理単価の上昇

市況に応じた価格改定 → 2.4%上昇

②大手ゼネコン案件の受注
➡新築工事案件の受注により、受注高の増加

27%以上 → 売上に対する大手ゼネコンの割合 毎年度２～３%増加 → 32%以上

製造原価低減

③設備投資
➡精選別施設の設置・積替え保管施設の設置

17%以下 → 二次処理量 毎年度１～２%低減 → 14%以下

成友マテリアルワン

ゼネコンとの取引を強化することにより、コンクリート塊の受入量を増加
外注庸車費等の原価削減を図るために、収集運搬を強化

□中期経営計画 □今期予算 単位：百万円	2026年７月期	2027年７月期	2028年７月期	2029年７月期
売上	636	700	720	750
経常利益	176	210	220	230

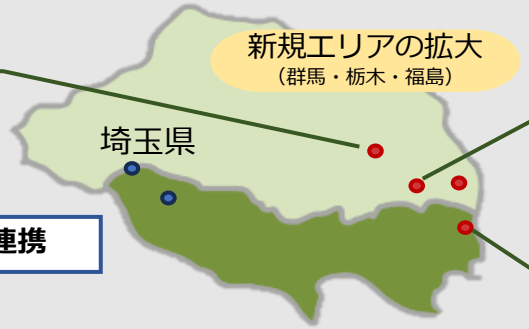
年間のれん償却額	117,078千円

コンクリート塊の受入　15万トン
新規ゼネコン取引　12社
収集運搬台数　３台増車
ドライバー　２名増員

コンクリート塊　15.5万トン
ゼネコン（大手・準大手）　15社
収集運搬台数　２台増車
ドライバー　２名増員

コンクリート塊　16万トン
ゼネコン（大手・準大手）　15社
収集運搬台数　５台増車
ドライバー　５名増員

【白岡センター】
1．営業所の設置



【川口工場】
1．稼働率や運搬量、配車効率の増加
2．受入れ時間の延長を検討

あきる野事業所・青梅事業所との連携

【本社】
1．エコアクション21の取得
2．顧客をスーパーゼネコン等の元請にシフト

目次

1 今期予算と３年間の利益計画 4

2 環境事業について 7

3 建設事業について 12

4 環境エンジニアリング事業について 20

5 成友セキュリティについて 22

6 株主還元策について 24

建設事業　今後３年間の中期経営計画について

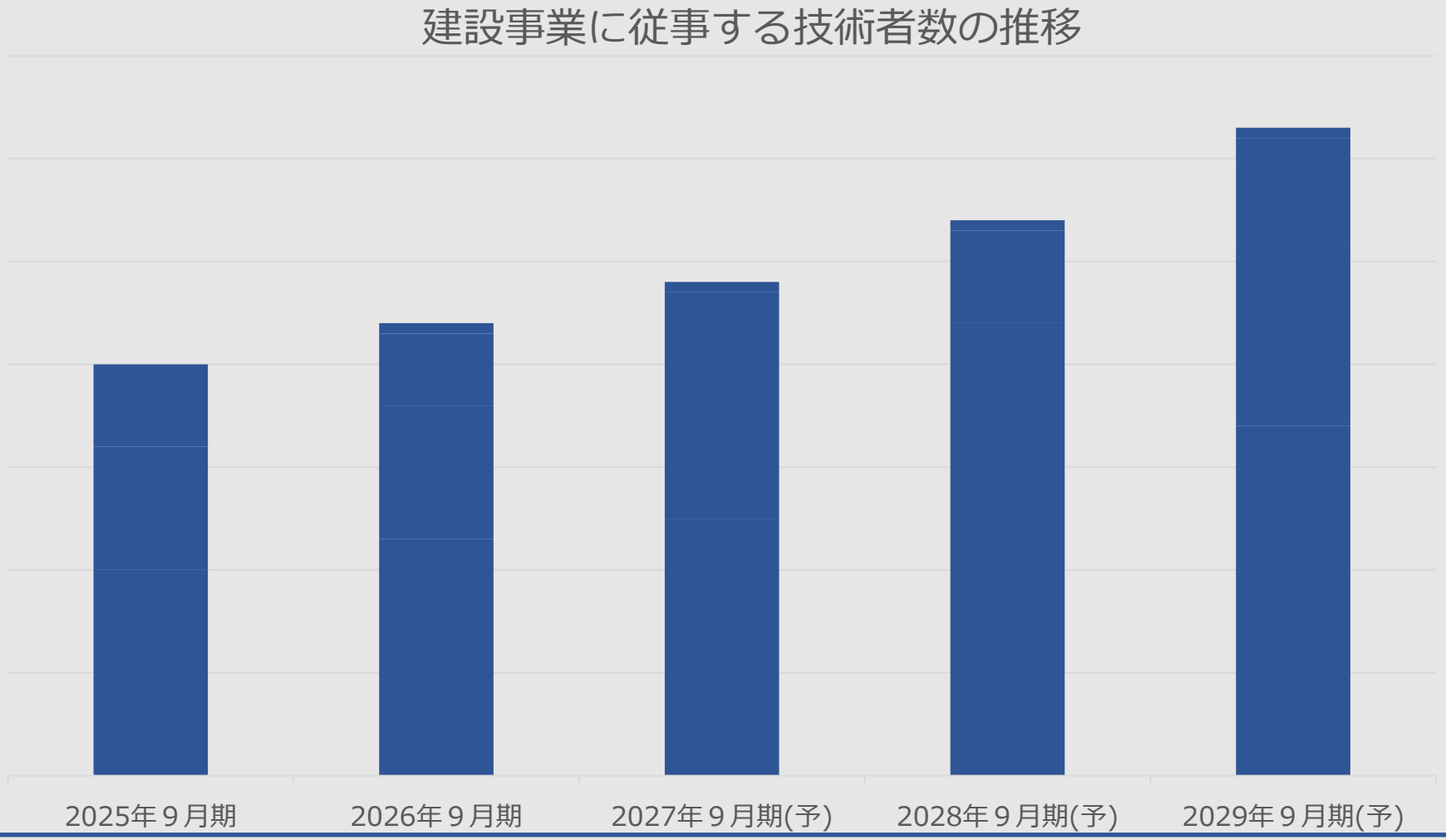
■技術者の確保・育成・定着
■工事の大型化及び工種の多角化
■グループ間での在籍出向や転籍、技術交流を活発化

□中期経営計画 □今期予算　単位：百万円		2026年９月期	2027年９月期	2028年９月期	2029年９月期
成友興業(株) 建設事業部	売上	5,036	5,987	6,500	7,200
	売上総利益	544	787	780	820
木本建興(株) ※６月決算	売上	1,241	1,500	1,700	1,800
	経常利益	122	70	100	110
(株)武蔵野トランスポート ※７月決算	売上	537	750	850	1,000
	経常利益	67	65	85	100
令友工業(株)	売上	285	367	400	500
	経常利益	20	14	24	33

※各社の2028年９月期以降の中期経営計画については、技術者数の推移を基に作成したものです。

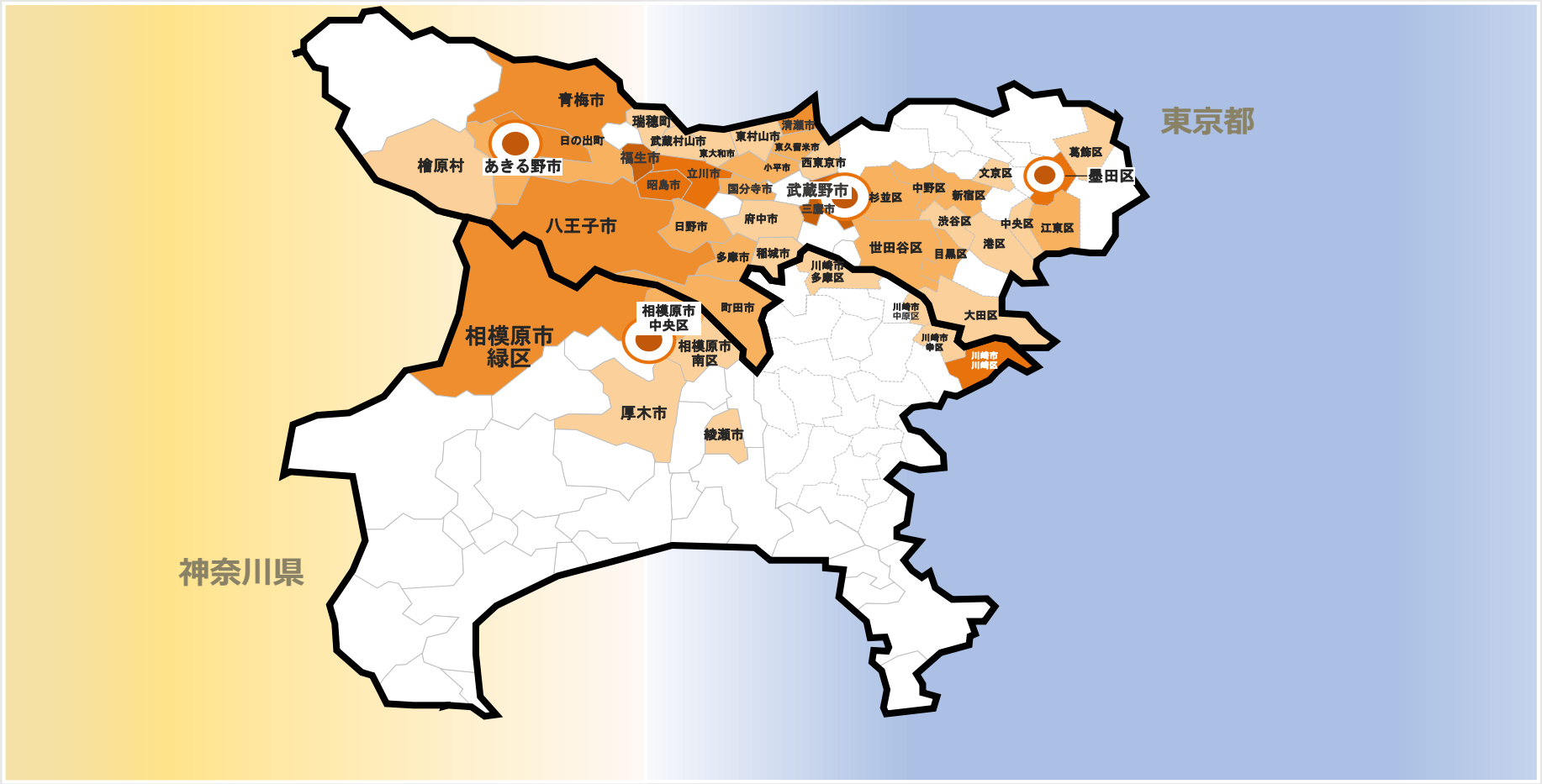
建設事業　～ 技術者の増員 ～

グループ全体で技術者の確保・育成・定着を図る



建設事業　～ 人材戦略 ～

事務所に捉われない現場配置を推進
グループ間での人材戦略を積極的に実施する



※当社グループが過去３事業年度に施工したエリアを示しています。

建設事業部　～ 工事の大型化と工種の多角化 ～

5億円以上・JV大型工事の受注継続及び
水道・下水道・河川の施工実績を基盤とした各工種の大型化を図る

□中期経営計画 □今期予算　単位：百万円		2026年９月期	2027年９月期	2028年９月期	2029年９月期
建設事業	売上	5,036	5,987	6,500	7,200
	売上総利益	544	787	780	820

工事の大型化及び工種の多角化

2026年9月末時点　実績

水道施設工事
請負金額　252百万円(税込)
竣工　2026年10月
現場名　八王子水道

下水道工事
請負金額　643百万円(税込)
竣工　2025年９月
現場名　瑞穂町シールドJV

河川工事
請負金額　82百万円（税込）
竣工　2026年５月
現場名　谷地川護岸復旧

ランクアップイメージ

東京都水道施設工事　八王子水道工事　竣工後もBランクのまま
B → 3億円規模の水道工事を受注(継続) → A
2031年9月期以降 青梅浄水場JV竣工後 Aへランクアップ
Aランクへアップするために必要な最高完成工事高　460百万円以上

東京都下水道工事　A　瑞穂町シールドJV竣工のため、Aランクへアップ予定(2027年4月以降)
3億円規模の大型下水道工事・管更生工事を受注(継続)

谷地川竣工後もCランクのままだが、今後は総合評価落札方式へ参加(谷地川で高得点獲得)

東京都河川工事　C → 2億円規模の河川工事を受注(継続) → B
Bランクへアップするために必要な最高完成工事高　200百万円以上　460百万円未満

経営事項審査（P点）1,300点獲得に向けて

2025年9月期　経営事項審査P点　実績	2026年９月期	2027年９月期	2028年９月期
一般土木　1,247点	1,275点	1,290点	1,300点

木本建興

中長期的に売上高２０億円を目指す

□中期経営計画 □今期予算 単位：百万円	2026年６月期	2027年６月期	2028年６月期	2029年６月期
売上高	1,241	1,500	1,700	1,800
経常利益	122	70	100	110

年間のれん償却額	28,777千円

技術者の増員と外注先の拡充施策

	2026年６月期	2027年６月期	2028年６月期	2029年６月期
技術者の増員		１級技術者　１名増 ２級技術者　１名増	１級技術者　１名増 ２級技術者　１名増	１級技術者　２名増 ２級技術者　２名増
外注先の拡充		協力業者を3社拡充		

売上高及び技術者増員を見込んだ経営事項審査（P点）の推移

2025年6月期 経営事項審査P点 実績	2026年６月期	2027年６月期	2028年６月期	2029年６月期
一般土木　1,017点		1,031点	1,055点	1,065点

武蔵野トランスポート

武蔵野市又は三鷹市で７億円、東京都で３億円を受注し 2029年７月期で10億円の売上を目指す

□中期経営計画 □今期予算 単位：百万円	2026年７月期	2027年７月期	2028年７月期	2029年７月期
売上	537	750	850	1,000
経常利益	67	65	85	100

年間のれん償却額	28,972千円

東京都財務局案件の受注に向けて

受注イメージ

2026年7月末時点実績

- 東京都一般土木 Aランク
- 東京都道路舗装 Bランク
- 東京都下水道 Aランク

東京都 実績づくりイメージ			
一般土木・道路舗装	希望制指名競争入札 １件以上受注	総合評価入札 １件以上受注	総合評価入札 ２件以上受注
		工事成績点75点以上を獲得	工事成績点75点以上を獲得
工種の多角化への実績づくりイメージ			
水道施設工事・河川工事	下請けとして施工実績を積む		実績獲得後、元請での受注を目指す

経営事項審査(P点)及び入札ランクイメージ

2025年6月期 経営事項審査P点 実績 882点

一般土木	Aランクを維持	2027年4月以降にランクをBへ戦略的に見直し、A～C等級で受注機会を拡大
道路舗装	Bランクを維持	

令友工業

東京都財務局案件の受注を目指す

□中期経営計画 □今期予算 単位：百万円	2026年９月期	2027年９月期	2028年９月期	2029年９月期
売上	285	367	400	500
経常利益	20	14	24	33

東京都財務局案件の受注に向けて

受注案件イメージ

	2026年９月期	2027年９月期	2028年９月期	2029年９月期
東京都一般土木	*2025年9月末時点 実績* 最高完成工事高 50百万円	請負金額　52百万円以上 １件以上	請負金額　200百万円以上 １件以上	請負金額 200百万円以上 ３件以上
市町村案件		請負金額　20百万円以上 ２件以上	50百万円以上の案件 ２件以上	50百万円以上の案件 ２件以上

経営事項審査(P点)推移イメージ

	2026年９月期	2027年９月期	2028年９月期	2029年９月期
	2025年6月期 経営事項審査P点 実績 767点		800点以上	900点以上

目次

1 今期予算と３年間の利益計画 4

2 環境事業について 7

3 建設事業について 12

4 環境エンジニアリング事業について 20

5 成友セキュリティについて 22

6 株主還元策について 24

環境エンジニアリング事業

土壌汚染対策工事の技術者を確保することで売上高の増大を図る

□中期経営計画 □今期予算　単位：百万円	2026年９月期	2027年９月期	2028年９月期	2029年９月期
売上高	1,187	900	1,500	1,850
売上総利益	93	70	105	130

汚染土壌除去対策工事等

売上高拡大	1,170百万円	1.5倍程度増	1,820百万円
技術者の補強	6名	採用強化	12名
工法の多角化	原位置浄化（改良）、基礎解体工事に伴う掘削除去工事の受注増		

分析センター

事業収益の改善	18百万円	分析検体数の倍増	30百万円

目次

1 今期予算と３年間の利益計画 4

2 環境事業について 7

3 建設事業について 12

4 環境エンジニアリング事業について 20

5 成友セキュリティについて 22

6 株主還元策について 24

成友セキュリティ ３年間の中期経営計画について

隊員の採用強化のために、採用広告宣伝の大幅な見直しを図る

□中期経営計画 □今期予算 単位：百万円	2026年９月期	2027年９月期	2028年９月期	2029年９月期
売上高	422	453	473	503
経常利益	14	10	13	20
隊員数	153人	168人	183人	198人
（前年比）	-4人	+15人	+15人	+15人

隊員の採用強化施策

１．警備の採用率が高い国分寺市エリアでの採用活動
・国分寺周辺に事務所を開設し、求職者の交通アクセスの利便性を高める。

２．広告宣伝費の集中投資
・応募数の増加に繋げるため、求職者への求人広告費を大幅に引き上げる。

３．採用率の改善
・AIを駆使した求人広告ツール等の活用で、採用率の向上を図る。

目次

1 今期予算と３年間の利益計画 4

2 環境事業について 7

3 建設事業について 12

4 環境エンジニアリング事業について 20

5 成友セキュリティについて 22

6 株主還元策について 24

株主還元策について

2026年９月期 分割並びに増配	
普通株式分割	１：３
１株当たり配当金	14円00銭 分割前換算 40円 ➡ 42円

基本方針

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題のひとつとして位置づけており、業績の推移、財務状況、今後の事業・投資計画などを総合的に勘案し、内部留保とのバランスを取りながら、配当による株主への利益還元を安定的かつ継続的に実施する方針です。

株式分割並びに配当予想の修正

当社は、 2026年6月30日(火)時点の株主様に対して、 2026年7月１日(水)効力発生の株式分割を１対３で行いました。それに伴い、配当予想の修正（増配）を行いました。

本資料における注意事項

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述は、本資料の日付時点の情報に基づいて作成されており、将来の結果や業績を保証するものではありません。このような将来予想に関する記述には、既知および未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。

これらの記述に記載された結果と大きく異なる可能性のある要因には、国内および国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。また、当社以外の事項・組織に関する情報は、一般に公開されている情報に基づいており、当社はそのような一般に公開されている情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証しておりません。また当社は、記載内容に重要な変動がある場合を除き、本資料の記述を修正する予定はありません。

本資料は、情報提供のみを目的として作成しています。本資料は、当社の有価証券の販売の勧誘や購入の勧誘を目的としたものではありません。